

再エネなくして世界も日本も立ち行かないことは疑う余地はないのですが、諸般の理由から、日本の再エネは太陽光以外には成功しないことが分っています。

しかし実施場所がない。そこで耕作放棄地が浮上するわけです。耕作放棄地増大の原因は一言に「儲からない」からです。儲からないから持続不可能になった。

つまり持続可能の農業が出来れば 埼玉県の2倍ある放棄地が火力発電所にとってかわるのです。それは太陽光を発電と作物でシェアする、消極的遮光、ソーラーシェアリングでは実現できません。積極的遮光のソーラーシェーディングでのみ達成できることです。

ではソーラーパネルの下で何を栽培するのでしょうか？ それは